

## こどもの権利条例の周知・啓発グループワーク結果報告

### 1. 実施概要

開催日:令和8年6月29日(月) 令和8年度第1回子ども・子育て会議内

参加者:子ども・子育て会議委員20名 (うち2名はオンライン)

形 式:グループワーク

### 2. ワークショップの目的と内容

富田林市こどもの権利条例について、「どのような対象に」「どのような場所・媒体・活動を使って」周知・啓発を図るかを、多様な立場の委員からアイデアを募ることを目的として、以下のテーマについてグループワークを実施した。

**テーマ** 「〇〇に『こどもの権利条例』のことを知ってもらい、興味を持ってもらうために、こんな場所で、こんなものを活用して、こんなことをしてみたらどうだろう？」

- だれに？(対象:未就学児・高校生・保護者・一般市民・海外につながるのある人など)
- どんな場所で？(学校・公園・SNS・地域イベント会場など)
- どんな情報ツールや媒体を使って？(動画・漫画・ゲーム・ポスター・ウェブサイトなど)
- どんな活動や企画内容だったら興味を持つ？(体験型ワークショップ・交流イベントなど)
- 誰が伝えるのが効果的？(友達・専門家・キャラクターなど)

### 3. グループ編成と成果物

会場参加の委員18名が4グループ(A～D)に分かれ、模造紙を使った付箋ワークを実施。

その後、各委員がお気に入りのアイデア1つ(自身のでも他人のでも可)を個人まとめシートに記入。

※オンライン参加の委員2名は個人ワークで実施。



## A グループ

〇〇〇に『こどもの権利条例』のことを  
知ってもらい、興味を持ってもらうために、  
こんな場所で、こんなものを活用して、  
こんなことをしてみたらどうだろう？

だれに？

(例: 未就学児、高校生、保護者、市民、海外につながる人など)

どんな場所で？

(例: 学校、公園、SNS、地域のイベント会場など)

どんな情報ツールや媒体を使って？

(例: 動画、漫画、ゲーム、ポスター、チラシ、ウェブサイトなど)

どんな活動や企画内容だったら興味を持つ？

(例: 体験型ワークショップ、交流イベント、短編動画コンテスト、クイズ大会など)

誰が伝えるのが効果的？

(例: 友達、先輩、専門家、地域の人、キャラクターなど)

## B グループ

〇〇〇に『こどもの権利条例』のことを  
知ってもらい、興味を持ってもらうために、  
こんな場所で、こんなものを活用して、  
こんなことをしてみたらどうだろう？

未就学児

小学生

中高生

おとな対象

だれに？

(例: 未就学児、高校生、保護者、市民、海外につながる人など)

どんな場所で？

(例: 学校、公園、SNS、地域のイベント会場など)

どんな情報ツールや媒体を使って？

(例: 動画、漫画、ゲーム、ポスター、チラシ、ウェブサイトなど)

どんな活動や企画内容だったら興味を持つ？

(例: 体験型ワークショップ、交流イベント、短編動画コンテスト、クイズ大会など)

誰が伝えるのが効果的？

(例: 友達、先輩、専門家、地域の人、キャラクターなど)

## C グループ

〇〇〇に『こどもの権利条例』のことを  
知ってもらい、興味を持ってもらうために、  
こんな場所で、こんなものを活用して、  
こんなことをしてみたらどうだろう？

だれに？

(例：未就学児、高校生、保護者、市民、海外につながる人など)

どんな場所で？

(例：学校、公園、SNS、地域のイベント会場など)

どんな情報ツールや媒体を使って？

(例：動画、漫画、ゲーム、ポスター、チラシ、ウェブサイトなど)

どんな活動や企画内容だったら興味を持つ？

(例：体験型ワークショップ、交流イベント、短編動画コンテスト、クイズ大会など)

誰が伝えるのが効果的？

(例：友達、先輩、専門家、地域の人、キャラクターなど)

つどいの広場で  
保護者毎々が  
はなやねん  
すごろくをする

おもちゃの配り  
ゲーム、お絵かき  
絵本

保育園の職員に  
職場で、  
スライドも活用して、  
園内研修をする。

保育園の保護者に  
チラシと配布して、  
知ってもらう。

市民対象の  
イベントで、  
親子でできる  
ゲーム。

大人に会えた日  
子どもと一緒に  
楽しむイベント  
を企画する。

プロジェクト  
ワークショップ  
一般市民  
公開

アニメ映画  
にも  
一般公開

アニメ映画  
で読みかき

つどいの広場  
の中に本を置く

おもちゃの  
学校、保育園  
にも

幼・小・中・高  
生年齢層に  
合わせた  
広報活動

団体の活動中に  
小学生の子どもと  
はなやねん  
すごろくをする

学校の  
ポスター掲示

## D グループ

〇〇〇に『こどもの権利条例』のことを  
知ってもらい、興味を持ってもらうために、  
こんな場所で、こんなものを活用して、  
こんなことをしてみたらどうだろう？

大人

図書館

小・中  
学校の  
土曜日の  
参観日  
(PTA活動科)

高齢者の  
集まり場所  
(どこ?)

スーパー

ご集まり  
場所(お水  
活場)

子ども

小学校

SNS  
Insta  
TikTok

幼・保  
育園

こども食堂

体育館で  
権利条例  
かるた

権利条例  
かるた

集会所  
権利条例

ポスター  
↓  
買い物を  
見せよう

子どもが親  
に伝えて  
知ってもらう

権利条例  
のことを  
発信する

はなやねん  
すごろく!!

ユニセフ  
条例カード

だれに？

(例：未就学児、高校生、保護者、市民、海外につながる人など)

どんな場所で？

(例：学校、公園、SNS、地域のイベント会場など)

どんな情報ツールや媒体を使って？

(例：動画、漫画、ゲーム、ポスター、チラシ、ウェブサイトなど)

どんな活動や企画内容だったら興味を持つ？

(例：体験型ワークショップ、交流イベント、短編動画コンテスト、クイズ大会など)

誰が伝えるのが効果的？

(例：友達、先輩、専門家、地域の人、キャラクターなど)

## 4. 結果まとめ

### (1)模造紙

| A グループ                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保護者                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 法定健診の待ち時間を活用した周知</li> <li>● フェスタ・参加後の講演会</li> <li>● Zoom や YouTube・SNS で発信</li> <li>● 託児つきイベント</li> </ul>                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童館・子育て支援センターでのイベント</li> <li>● 地域の親子教室の場</li> <li>● こどもが話すイベント</li> </ul> |
| 先生                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                    |
| ● 園のInstagramで紹介                                                                                                                                                                              | ● 職員間で研修として話し合う                                                                                                    |
| 未就学児・小学生                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 幼稚園での遊びの中で</li> <li>● 演劇</li> <li>● ゲーム感覚でタブレットを使った学び</li> </ul>                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 出前授業(YouTube 配信・対面)</li> <li>● おみやげつきイベント(キャラクターのネーミングやシール)</li> </ul>    |
| 中・高・大学生                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                    |
| ● ゲスト招待型の講演会(中学・高校)                                                                                                                                                                           | ● ゼミとの連携(大学)                                                                                                       |
| 市民                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 展示を通じた目に触れる機会づくり(図書館、公民館、商業施設)</li> <li>● こどもの関連する場所に、11 個のこどもの権利をパネルで常設</li> <li>● こどもに関わる場の人々が、11 個のこどもの権利の中から関連深いものを名札のようにして首からかけ、周知する</li> </ul> |                                                                                                                    |

| B グループ                                                                                                                                                            |                                                                                                                                              |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 未就学                                                                                                                                                               |                                                                                                                                              |
| ● 保育園・幼稚園での絵本読み聞かせ                                                                                                                                                |                                                                                                                                              |
| 小学生                                                                                                                                                               |                                                                                                                                              |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 給食のデザートへの PR シール貼付</li> <li>● 給食時間の放送を活用した周知</li> <li>● 道徳の時間等でグループワーク</li> <li>● 権利に関する漫画を配布</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 図書館でこどもの権利について目にしたり、話を聞いたりする</li> <li>● 祭りなどのにぎやかな場所</li> <li>● イベント・抽選会を通じて周知</li> </ul>           |
| 中高生                                                                                                                                                               |                                                                                                                                              |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「なんでやねん！すごろく」の活用</li> <li>● 金剛中央公園で巨大すごろくの実施</li> <li>● SNS(インスタ等)での発信</li> <li>● オンライン学習教材の開発</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 富田林にゆかりのある有名人や芸人を招き、条例の内容やポイントを演じてもらう</li> <li>● 買い物に行った先</li> </ul>                                |
| 大人                                                                                                                                                                |                                                                                                                                              |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校周辺にお祭りのようなのぼりを設置</li> <li>● 「なんでやねん！すごろく」体験ワークショップ開催</li> <li>● SNS での動画・広告配信</li> <li>● 家族で条例について話せる機会をつくる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子ども食堂でポスター・パンフレットを配布</li> <li>● 毎年周知するプリントを学校を通じて配布</li> <li>● 保育園や学校での保護者の集まりや PTA 会議の場</li> </ul> |

| C グループ                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 保育園で職員向け園内研修(スライド活用)</li> <li>● 保育園の保護者へのチラシ配布</li> <li>● つどいの広場で保護者が「なんでやねん！すごろく」を実施</li> <li>● つどいの広場の中に本を置く</li> <li>● プラネ de えほんで読み聞かせ</li> <li>● アウェアネスリボン※(色も)</li> </ul> <p>※輪状に折った短い一片のリボン。さりげない支援や賛同の声明を出す方法として使用されている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業参観(学校・保護者・こどもに)</li> <li>● 幼・小・中・高の各年齢層に合わせた広報</li> <li>● 権利ノートの配布(妊婦・配偶者・祖父母に)</li> <li>● 市民対象イベントで親子でゲーム</li> <li>● 大人に伝えたいと思っているこどもと一緒に遊べるイベントを公園で</li> <li>● プロジェクションマッピング</li> </ul> |

| D グループ                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| こども                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子ども食堂</li> <li>● 学校(小学生向け)</li> <li>● なんでやねん！すごろく</li> </ul>                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ユニセフ条約カード</li> <li>● SNS(TikTok、Instagram)を通じて発信(中高生向け)</li> </ul>                                                                         |
| 大人                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 図書館</li> <li>● 小中学校の土曜参観日(PTA 活動)</li> <li>● 高齢者が集まる場所</li> <li>● スーパーにポスターを掲示し、買い物の際に見てもらう</li> <li>● 体育館で権利条例かるた</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 母子手帳で周知(妊娠時や産後直後から)</li> <li>● 人権フェスタで人権作文・ポスターを発表</li> <li>● 娯楽(カラオケ、浴場等)をする場所(楽しい時こそ色々と見る)</li> <li>● こどもが保護者に伝える(こどもが学習⇒大人へ)</li> </ul> |

| オンライン(個人ワーク)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業所では月1回のこども食堂の開催、放課後等デイサービス等の実施もあり、利用者や支援員がこどもと関わる機会が多い。こうした場を活かし、利用者にも分かりやすい形でこどもの権利を伝え、ともに話し合う機会をつくる。</li> <li>● こどもの権利にとどまらず、「おとなにも権利があること」「命に大きい・小さいはなく、ひとりひとりが等しく大切な存在であること」を、幅広い人が知り・考えられる機会へと広げていく。</li> <li>● 障がいのあるこどもたちへの啓発について、「障がいがあるから分からないだろう」とあきらめるのではなく、一人ひとりが理解できる伝え方・表現の工夫を模索しながら、権利について伝えていくことが大切。</li> </ul> |

## (2)個人まとめシート

| ① イベント・ゲーム・体験                                                                                                                                                                                         |                                                                                                        |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主なアイデア                                                                                                                                                                                                | 主な理由                                                                                                   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● イベントで「なんでやねん！すごろく」を活用</li> <li>● 金剛中央公園で巨大すごろくを設置し、ゲーム大会を開催(人がコマになる規模)</li> <li>● 託児付きイベント</li> <li>● 権利に関するクイズ、カード、脱出ゲーム</li> <li>● イベント時にリボンの配布</li> </ul> | <p>「勉強というより、楽しく学ぶことを目的に」、「大人もこどもと一緒に体験できる」、「目立つ・話題性がある」、「託児があれば安心してこどもをあずけて参加できる」、「まずは知ってもらうことが第一」</p> |

| ② 学校行事・授業との連携                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 主なアイデア                                                                                                                                                                                                                                        | 主な理由                                                                          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 小中学校の参観で権利条例カルタ(体育館)</li> <li>● 夏休みの自由研究テーマに「こどもの権利条例」を設定(キャラクター命名コンテスト等)</li> <li>● 参観で、こどもと保護者で「なんでやねん！すごろく」のカード作り</li> <li>● 学校でこどもが学習して保護者に伝える</li> <li>● 学校行事でパンフレットを持ち帰り、親子で話す機会を作る</li> </ul> | 「土曜参観は働く保護者が参加しやすい」、「こどもも大人も楽しく知ることができる」、「こどもの宿題は必ず保護者が見るので大人にも認識してもらうことができる」 |
| ③ キャラクター・グッズ・シールの活用                                                                                                                                                                                                                           |                                                                               |
| 主なアイデア                                                                                                                                                                                                                                        | 主な理由                                                                          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● キャラクターをシール(11個の権利)にしてイベント等で配布</li> <li>● お気に入りの権利シールを職場の名札に貼り日常から話題になるようにする</li> <li>● キャラクターに親しんでもらう(ステッカー、キーホルダー化)</li> <li>● シールを何枚も集めたいようになるように、スタンプカード化やシール帳の作成</li> </ul>                      | 「日常につながる大切」、「景品があればこどももイベントに参加してくれるのでは」、「まずはこどもにも大人にも知ってもらうことが第一」             |
| ④ ポスター・作文等の作成及び発表機会づくり                                                                                                                                                                                                                        |                                                                               |
| 主なアイデア                                                                                                                                                                                                                                        | 主な理由                                                                          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 集会所・スーパーへのポスター・作文の掲示</li> <li>● イベントで人権ポスターや人権作文をこどもが発表する</li> <li>● 12月の人権フェアでポスター展示だけでなく作文発表の機会をつくる</li> </ul>                                                                                     | 「今までの取り組みの有効活用ができる」、「ポスターや作文を作成してもその思いを発信する場がない」                              |

### (3)提案の傾向

#### ①「なんでやねん！すごろく」の活用

既存ツールとして広く認知されており、楽しく権利を知る・学ぶ手法として提案された。公園での巨大版・授業参観での親子版など、様々な展開案が示された。

#### ②イベントでの体験型・ゲーム型の取組

参加者が楽しみながら触れる機会をつくるのが大切だという提案が多くあげられた。クイズ・すごろく・カルタ・カードゲームなど、複数の体験形式が提案された。

#### ③学校行事・授業参観との連携

こどもと保護者に同時に周知できる機会を活かすアイデアとしてあげられた。

#### ④こどもから保護者への啓発ルート

こどもが学校等で権利について学び、その内容を家庭で保護者に伝えることで大人への周知を図る。夏休みの自由研究をきっかけとし、保護者も自然と関与できるという意見もあった。

#### ⑤キャラクターやグッズの日常的活用

イベント限りで終わらせず、日常の中で繰り返し目にする・使う工夫として、キャラクターを活用したシール・シール帳・スタンプカードなど日常生活に入り込むアイテムの提案があった。

#### ⑥発表機会の設定

ポスターや作文募集等の既存の取組に加え、作成したあとの「思い」を伝える場があれば良いという提案があった。